

奈良公園の哺乳動物相

2009年2月 作成

『奈良公園の自然』(奈良教育大学 1994年3月)より
奈良県RDBカテゴリーは、奈良県版レッドデータブック(2006年3月発行)による

	種名(和名)	確認場所	年月日	備考	奈良県RDB カテゴリー
モグラ目					
トガリネズミ科 モグラ科	ジネズミ ヒミス	生息が予想されるが未確認 春日奥山遊歩道 公園内に広く生息することが想像されるが、生息個体数は多くないようである	1993/4/18	轢死体	
	コウベモグラ	正倉院の講堂跡 東大寺の東塔跡 手向山神社周辺 若草山山麓商店街の西側 西日本平野部では普通に見られているが、公園内ではその坑道の大きさからの推測で、確実な実物観察に基づく証拠はあがっていない	1994/1月下旬~2月下旬 1994/2月末~3月初旬 1994/2月末~3月初旬 1994/2月末~3月初旬	モグラの坑道 モグラの坑道 モグラの坑道 モグラの坑道	
翼手目(コウモリ目) ヒナコウモリ科	アブラコウモリ	公園内では未確認、南側の奈良教育大学構内で何回も観察			
キクガシラコウモリ科	テングコウモリ キクガシラコウモリ	御蓋山(蝙蝠窟) 春日山 花山 若草山	1953/6/ 1957年頃 1957年頃 1957年頃	1雄を採集 採集 採集 採集	絶滅危惧種 希少種
	コキクガシラコウモリ	春日山 若草山 テングコウモリ・キクガシラコウモリ・コキクガシラコウモリについて、上記以後、公園内からの観察・採集記録は全く報告されていないし、最近も生息は知られていない。	1957年頃 1957年頃	採集 採集	希少種
サル目	オナガザル科	ニホンザル		1955年頃まで公園内で見かけたが、以後見かけることがない	
ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ	公園南側の奈良教育大学構内	1993/1/14 で確認 生息が予想されるが未確認	
ネズミ目	リス科	ホンドリス	ささやきの小径の一本東の道 妙見宮付近	1992/5/27 1994/2/28、3/2	目撃 目撃
		ムササビ	公園内に生息することが想像されるが、生息個体数は多くないようである 樹洞があるような大木の存在するところに広く分布している ものと思われる		
	ネズミ科	ズミスズミ	春日奥山のヒノキの造林地 以後未確認、生息不明	1993/12/18	1頭捕獲
		アカネズミ	春日奥山のヒノキの造林地 春日奥山遊歩道の上の方 柳生街道の下部	確認時期は不明 確認時期は不明 確認時期は不明	公園内におけるネズミの調査 があまり進んで いないので、分 布の全容は不 明
		ヒメネズミ イエネズミ類	柳生街道の下部	1994/2/	不明
ネコ目	イヌ科	タヌキ	奈良ホテル前 奈良地方裁判所の前 春日大社参道口バス停付近 公園平坦部には相当生息していると思われるが、原始林内部からの生息 痕跡や目撃記録は知られていない	1991/10/22 1993/10/14 1994/1/31	轢死体 轢死体 轢死体
		キツネ	春日奥山遊歩道の南部交番所 付近 春日奥山遊歩道の上の方	1992/12/30 1994/2/13	2頭目撃 雪上に足跡
	イタチ科	テン	春日大社参道口バス停付近 春日大社参道口バス停付近 妙見宮付近	1991/6/25 1992/5/27 1993/7/18	1個のフン 3個のフン 目撃
		チョウセンイタチ	妙見宮付近 飛火野の南西近くのバス道路	1992/7/30 1993/11/20	目撃 轢死体
		アナグマ	1935年頃に春日山に於いて狩猟せられたとの記録があり、生息が予想されるが、確実な生息記録は最近全く知られていない		
ウシ目	イノシシ科	イノシシ	地獄谷新池付近 地獄谷新池付近 ささやきの小径 奈良公園東隣の大和高原では秋にイノシシによる稲の被害が激しく、有害 鳥獣として駆除しようと思っても、奈良公園内に逃げ込むのでもいい手はない とのこと。したがって、公園の山林部にはたくさん生息しているものと思われる。	1992/4/14 1992/4/29 1993/9/2	足跡 目撃 目撃
	シカ科	シカ	奈良公園のシカはホンシュウジカである。古来、春日大社の神鹿として愛護 されてきた。現在、約1200頭。奈良公園平坦部から春日山・高円山にかけ て生息する。1957年に国の天然記念物に指定された。角があるのはオスの 成獣だけで、メスには見られない。		郷土種